

サンビレッジ高平台だより

和顔愛語

創刊号

平成22年11月発行

特別養護老人ホーム サンビレッジ高平台 開設

医療法人社団郁栄会理事長
社会福祉法人郁栄会理事長

伊東山 洋一



平成15年7月1日、北部脳神経外科・神経内科を開設、その3年後に介護老人保健施設かなこぎ苑、更に1年後にグループホーム サンライズ楠野、小規模多機能型居宅介護事業所シニアクラブ菱形を開設しました。ここまでは医療法人社団郁栄会での事業展開でした。当初より、救急医療から介護まで一貫したサービスを提供できる施設の展開を念頭に頑張ってきましたが、本年7月1日には社会福祉法人郁栄会で特別養護老人ホームサンビレッジ高平台を開設することができました。一重に職員一同の頑張り地域住民の方々の御支援の賜物と感謝しております。

今回の特別養護老人ホームサンビレッジ高平台の開設で、救急医療から終末期医療、介護までの一貫した医療、介護サービスシステムが完成したと思います。ただシステムに命を吹き込めるかどうかは最終的にはスタッフの努力にかかっています。我々の社会福祉法人郁栄会はやっと初声を上げたばかりです。皆で大きく育てて行こうではありませんか。

サンビレッジ高平台3階からの日の出

オープニング セレモニー



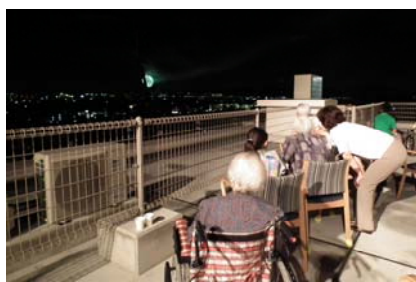
開設の挨拶をする白井施設長

セレモニーの終盤では、かなこぎ混声合唱団による『ハレルヤ』などの合唱で式が盛り上りました。サンビレッジからも白井施設長をはじめ、3名が参加しています。

オープンを前に、6月27日『オープニング セレモニー』がダイルームにて行われました。



施設 イベント



花火が上がるたびに歓声が！

8月6日に行われた自衛隊 北熊本駐屯地から上げられた花火を、サンビレッジの屋上から見る事ができました。



ご利用者家族も一緒に花火を楽しみました



熊本県立美術館へ「細川家のよろい展」見学



吉次峠へのみかん狩り

地域交流スペース



月に一度のペースでボランティアの方々に来ていただき、入居者様・ご家族、デイサービスの利用者様と地域交流を行っています。



8月12日、竹峰流華峰会の皆様による『民謡・三味線ボランティア演奏会』では“おてもやん”や“田原坂”などが披露されました。また、可児（かに）研二様のピアノ伴奏で“夏は来ぬ”や“故郷”などを参加者みんなで懐かしく歌われていました。



9月20日、敬老の日に入居者様・デイサービス利用者様の中で、節目を迎えられた方々が表彰を受けられました。ゲストとして三遊亭恋生さんによる落語が披露されました。アコースティックギターの演奏をしながらの珍しいスタイルに皆さん聞き入っておられました。



10月16日、崇城大学ジェンベ部の学生9人が西アフリカの民族楽器『ジェンベ』の演奏に来てくれました。山羊の皮が張られた太鼓に似た表面を指で叩くと軽快な音が鳴り（みなさん体験されました）全員での演奏となると大迫力の音となりました。



ボランティアのみなさんありがとうございました。

スタッフ紹介

今回は、『事務所』『デイサービス』『栄養科』の
スタッフを紹介します。入所棟は次回に！！

個人情報保護の為、職員の写真と
氏名はホームページでは非表示と
させていただきます。

編集後記

七月一日にオープンを
迎えてから早、四ヶ月が過
ぎました。オープン当時は
あんなに暑かった夏も過
ぎ、すっかり秋の様子とな
っています。

これからも、利用者の皆
様に季節を肌で感じて頂
き、生活の場としての
『我が家』に近づけるよ
う、『和顔愛語』の心で
スタッフ一同頑張ります。

広報委員

末次・赤池

村上理・山本裕

表紙の『わげんあいご和顔愛語』
とは、おだやかな笑顔で
人に接し、やさしい言葉
をかけてあげるという
意味です。

